

N-ro 64 1996 aŭgusto - oktobro

ORGANO DE
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

053 苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO
ĉe Acuŝi HOŝIDA
Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053 Japanio

ENHAVO

| | |
|--|--------|
| Protokolo de la 60-a Hokkajda Kongreso de ESPERANTO 第60回北海道エスペラント大会議事録 Emiko BABA 馬場恵美子 | 2 |
| 第60回北海道大会へのメッセージ 東北エスペラント連盟から 関西エスペラント連盟から | 4 5 |
| Pri la proponoj, diskutoj kaj decidoj en la 60a Kongreso 第60回大会(岩見沢)での提案審議・決定について | 6 |
| Rusa samideano Sergej Anikejev en Hakodate! セルゲイ・アニケイエフ氏が函館に Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 | 7 |
| Miaj impresoj (kelkvorte pri la 60-a Hokkajda Kongreso) Sergej Anikejev | 8 |
| La plezuro en la UK - en Plago - 世界大会-ブラハーでの喜び Ecuko JAMAGIŜI 山岸悦子 | 10 |
| Letero el Liaoning-provinca Esperanto-Asocio 遼寧省エスペラント協会からのたより Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 | 11 |
| Raporto de la komitata kunveno de HEL (la 4-a, la 5-a, la 6-a) 役員会報告(第4回、第5回、第6回) Emiko BABA 馬場恵美子 | 12 |
| Ĉu Holokaŭsto ne okazis? Eraroj! インターネット通信より: ユダヤ人虐殺はなかった? うそです! Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 | 13 |
| Danke ricevitaĵ 受領郵便物 | 14 |

| | |
|--|----|
| Mesaĝo de Hokkajda Esperanto-Ligo al la 37-a TOHOKU-KONGRESO DE ESPERANTO 第37回東北大会へのメッセージ | 16 |
| S-ino Pauline LEDEEN(Usono) vizitis Muroran'on Pauline LEDEENさん(アメリカ)室蘭訪問 Acuŝi HOŝIDA 星田 淳 | 17 |
| Raporto de la komitata kunveno de HEL (la 1-a, la 2-a) 役員会報告(第1回、第2回) Ejko ABE 阿部映子 | 18 |
| Kiel fartas kaj vivas samideanoj あの人この人(会員消息) | 19 |
| Informo de Sapporo Esperanto Societo 札幌エスペラント会からのお知らせ 1. 秋日1日講習会 2. ザメンホフ祭 Emiko BABA 馬場恵美子 | 20 |

El redaktejo 編集部から
北海道大会が終わり1カ月以上たちました。ヘロルドを10月中に出すはずが11月になってしまい申し訳ありません。

10月初めに職場からの帰り道で車にぶつかり、救急車で病院へ。生まれて初めて救急車に乗りました。幸いレントゲン、CTでの検査では異常なく、打撲と擦傷だけですみました。一時は、足をひきずり杖をつきさらに下唇がはれたので顔にはマスクという格好でしたが、現在は下唇のはれは完全にひき手足の打撲で紫色になったところも段々色あせてきており右手の擦傷あとがまだ少し目立つかなといった程度です。

事故のことを知った方々にはご心配をおかけしました。また、お電話や手紙でお見舞いいただきありがとうございます。この欄をかりましてお礼申しあげます

(Ejko ABE 阿部映子)

日時 1996年9月28日(土) 10時から12時45分まで

場所 サンライフ岩見沢

開会宣言 LKK岩見沢より 渡辺 晋道

議長選任 後藤義治(大会議長)、馬場恵美子(書記)

議事に入る前に議長挨拶、La Espero 合唱、委員長(星田 淳)、来賓(ロウイナ・マクギルさん、セルゲイ・アニケイェフさん)挨拶、メッセージ(東北E会、関西E会)の披露があった。

地方会活動報告

1. 岩見沢(渡辺) ここ5年間の入門講習の募集で岩見沢でのエスペラント(以下E)に対する理解度は有る程度浸透しつつある。前日の入門講習(9名参加)では3名の再講習を望む声も有り今後につなげて行きたい。
2. 札幌(馬場) 11月入門講習(1名入会)、その後春期にも行われた。12/9ザメンホフ祭(30名)。例会は今後を教育文化会館、かでの2・7、大本センター-を利用。6/2藻岩山登山(14名)。来客は9月アレクサンドラ綿貫さん、マルチナ・ロウエクさん。
3. 苫小牧(星田) 毎週木曜日苫小牧市本町公民会にて例会。入門講習は7月1名参加。例年参加している苫小牧市本町公民館祭にプラハ大会の様子などを中心に展示。1100人ほどの入場者。ザメンホフ祭(6名程参加) *Eで発表
4. SAT-ana Grupo(宮沢 直人) Eを使って労働・原子力問題などの政治運動を行っている。本日は札幌で毎年参加している連帯祭(解雇された鉄道者の催し)にメンバーが参加。機関誌は1月に発行。例会は毎週火曜日。内容は原子力問題・平和運動などについての意見交換を行っている。 *Eで発表
5. 北大(川合 由香) 入学試験にビラ配布(8千枚)し新人2名を迎え現在5名でL-0に投稿など。7月青年E会会報を札幌で編集協同作業、その後は全国で持ち回り。10月学園祭に参加し、会報「El Norda lando」を発行予定。会の名称を「Esperanto Rondo en Universitato de Hokkaido」とした。大鋸氏が卒業を迎えるが学祭などで部員を増加したい。

世界大会/アジア大会報告 世界大会(山岸は当日不参加)、アジア大会は馬場が報告

HEL活動報告(星田)

1. 59回北海道大会を9/30・10/1、札幌で開催。大会名称が決定した。まなびピア(生涯学習)の一貫として開催し公開講演は佐藤勝一氏。参加28名。不在13名。一般参加は29名。
2. 役員会は計5回行われた
3. 新年講習会は1/27札幌東北会館で講師は星田。松葉菊延訳「星新一ショート・ショート」を原文と対比し翻訳14名参加。新年会は同日サッポロファクトリー-9名。
4. 合宿は講師の急病のため中止。
5. 機関紙の発行は5回。 *Eで発表

会計報告(渡辺)

昨年に大会で承認された会費値上げによる前納制の徹底、未納者の督促などにより59,974の剰余金。将来の事業を想定して各行事の黒字を心がけた。

監査報告(後藤)

昨日の監査において帳簿・現金等に問題は無く正規に運用されていた。

*HEL活動報告、会計報告は拍手をもって承認された。

提案審議事項

1. 講師認定制度について(渡辺)

前年度に制度事態は承認されていたが「講師会」(認定講師が委員長の委託を受けて講習会の実現、講師の養成)の項目が追加された。理由は合宿中止となり講師の必要が一層認められた為。また道連盟の活動に随時参加出来ることも条件となる。

2. エスペラント運動の活性化を目指しプロジェクトチーム(PT)を設ける(サトウ エイジ)

講師の病気が即合宿の中止になりうる事態を重く見て、連盟内に自由な発想を持ったPTを作りE人口の増加につなげて行きたい。しかし特定の集団としての支配を目指したのではなく、3年位をめどに実現性の有るものから取り組んで行きたい。組織図的には委員長或いは役員の諮問機関とする。構成メンバーは中心となるのは連盟会員となるが、非会員の意見も聞きたい。実験的に設けて1年後の成果を見て今後につなげて行く。予算的には初年度は大幅な支出は予想していないが役員会で決定する。

3. インターネットホームページ利用について(宮沢 直人)

金銭的負担は無いようだが詳細については未確認である。役員内で内容と技術的な可能性を検討してみる。

* 提案審議事項について挙手による採決が行われ承認された。(有資格者15名)

- 1. 講師認定制度(賛成15名)
- 2. PTの設置(賛成11名)
- 3. インターネット利用(賛成15人)

役員改選

児玉広夫、馬場が退任。児玉は会計監査に。宮沢(国際部)の復帰と後藤(前会計監査)、サトウが新役員となり人事については大会終了後役員会内で決定する。

次期予算

予算案が発表され詳細について説明があった。役員手当(9名分)を廃止して、必要な経費を負担することとした。機関誌発行費用は5回分を計上。今大会の収支予想は若干赤字の見通し。PTの支出が生じた場合予備費(¥10,000)からとする。

参加人員 132名

* 役員改選、次期予算は拍手をもって承認された。

次期大会について

LKK(大会実行委員)をSAT-ano Grupoで招致したい。遠距離者等の割引については、大会経費の切り詰めや寄付(一般を含めて)などでまかないたいが基本的には赤字を出さない方法で行いたい。大会については一般地域の協力も得て札幌近郊で行いたい。

* 次期大会については拍手により承認されLa Tagigo合唱、記念撮影後閉会した。

* 大会終了後開かれた役員会で役員人事が次のように決定した

| | | |
|----------------|-------------------|--------|
| PROJEKTA TEAMO | 事務局 長 :サトウ エイジ | 会計監査 |
| 委員長 星田 淳 | 機関誌兼図書部部长:阿部 映子 | :児玉 広夫 |
| 顧問:江口 音吉 | 会計兼教育部長 :渡辺 晋道 | |
| 木村 喜壬治 | 国際部部长兼PT担当 :宮沢 直人 | |
| 吉原 正八郎 | 委員(札幌) :後藤 義治 | |
| | (室蘭) :須藤 昭三 | |
| | (岩見沢) :浜田 国貞 | |
| | (函館) :岩井 正久 | |
| | (苫小牧) :大山口 誠 | |

志指要、
re HBL-ano?

(文責 馬場恵美子)

La Ihatovaj Esperantistoj

faksa

N-ro

1/1

Grupo por la Studo kaj Disvastigo de la Internacia Lingvo Esperanto

Redaktoro: Satoo Ŝ., Yagisawa 4-3-8-105, Miyako, Iwate, 027 Japanio Telefono: 0193(63)2489

Kasistino: S-ino Sasaki R., Nasukawacho 11-18, Morioka, 020 Japanio Telefono: 0196(53)2980

Salutmesaĝo de la prezidanto de la Nord-Orienta Esperanto-Ligo (N.O.E.L.)
al la 60-a Hokkajda Kongreso de ESPERANTO

Je la nome de la prezidanto de N.O.E.L. kaj reprezentanto de la Ihatovaj Esperantistoj, mi tre ĝojas sendi al la 60-a jubileo de via regiona kongreso nian plej koran gratulmesaĝon kaj al ĉiuj partoprenantoj mian personan saluton. Uzante ĉi tiun okazon, mi samtempe deziras al vi pozitivan antaŭenpaŝon sed, antaŭ ĉio, agrablajn travivaĵojn dum la kongresprogrameroj.

Bedaŭrinde terure serioza estas nuna lingva situacio en Japanio kaj la mondo. Ankaŭ grave pezaj estis miaj impresoj pri la Nitobe-Simpozio—bonega, epokfara programero, kiun UEA okazigis unuafoje dum la UK en Prago. Reveninte hejmen, mi do persone nun sentas, ke la vojo de Esperantistoj por lingvaj rajtoj kaj homa emancipiĝo ankoraŭ estas longa kaj fora. Ĉu ni iam trovus tempon ripozi? Neniam! Ni eĉ ne trovus tempon malesperi. Ni do estu amikoj!

Karaj, ni laboru kaj esperu ĉiam kune, ĉar mi kredas, ke eĉ en estanto kuŝas vera lingva diverseco, kio pli kaj pli jam ekstremigas Eŭropan Union.

Satoo Ŝ.

Satoo Ŝ. (Ŝo), prezidanto de N.O.E.L.
Miyako, Ihatovo, 1996-09-28

Ps, Bonvole saluti ankaŭ Lowena por mi.

la 22an de sep. 1996

Al la 60a Kongreso de
Esperantistoj en Hokajdo

de Kansaja Ligo de
Esperanto-Grupoj
Sonehigasi 1-11-46-204
Toyonaka-si, Oosaka-hu

Karaj Gesamideanoj en Hokajdo

Okaze de via "60a Kongreso de Esperantistoj en Hokajdo", ni, membroj de Kansaja Ligo de Esperanto-Grupoj sendas al vi varmajn kaj elkorajn salutojn kaj samtempe deziras plenan sukceson de la kongreso.

Ni vidas, ke vi havas tre interesajn programerojn kun etoso vere internacia. Temas pri Publika Prelego de la alilanda samideano Romena McGill, kiu estos vaste malfermita al la ekstera publiko.

Ni esperas ke vi plene ĝuu la kongreson en la kongresurbo Iwamizawa dotita je belaj naturoj.

Samideane Via

Nakamiti Tamihiro

Nakamiti Tamihiro
Ĉefkomitatano de
Kansaja Ligo de
Esperanto-Grupoj

第60回大会（岩見沢）での提案審議・決定について

Pri la proponoj, diskutoj kaj decidoj en La 60a Kongreso

*上記の件について何人かの方からきかれました。「今度はなぜあんな形になったの？ 委員会では話があったんですが、一般会員にはよくわからないー」
*問題は Projekta Teamo と、次期大会決定の件。ともに SAT 札幌の提案でした。
*大会議事の進行としては自然でした。出された提案に対して主旨説明、質疑応答の後決定されたのですから。次期大会提案も2件以上出ていたら、どれかに決定するための採決が必要でしょうが、1件だったので拍手採決となりました。

*しかしこれは、札幌での大会で、LKK (=Loka Kongresa Komitato) の主体が SES でない最初の例になるでしょう。疑問や異和感を持たれる方もあると思います。もちろん、SAT の提案の第1項に

”LKK は・・・SES のメンバーや北大サークルのメンバー・・・の協力や参加をめざし” とあるように、他のグループを排除する意図などないのは当然のことですが。

*それでは委員会の中ではどうだったか、ちょっと振り返ってみます。遠因に5月の星田の病氣入院もあるようです。ちょうど SAT のリーダー宮沢さんが帰国、SAT 札幌も活動再開したころでした。また北海道合宿は、講師の手配ができず中止になりました。そのころ病室に来た佐藤英治さんが、「SAT は今後 HEL に協力していく」と言ってくれましたが、今回の PT 提案は、その最初の具体化でしょうか。

*PT 提案の底にある「危機感」：人によっていろいろの感じ方はあるでしょう。民族語のように家庭で使われ、次の世代に受け継がれることのない言語は、新しい学習者（使用者）が現れなければ、いつかは亡びるしかありません。この危機感は私の心の底に、いつもあったと思います。

エスペラントを使う家庭で、生まれながらにエスペラントを話して成長した、いわゆる Denaskaj Esp-istoj はやがて1000人になるだろうーとのインターネットニュースが出ていましたが、世界で1000人では、やはり微々たるもので、まだ大勢にはあまり影響ないでしょう。

*PT の提案理由にあるように、これは今の北海道の運動に対する危機感からのものでしょう。JEI が2年前からやっていた「枠組み委員会」の仕事、その結果できた「JEI 21世紀への提言」（RO の1月号に出ている）は、いはばこのPT の中央版ですが、北海道では具体的にどんなことができるかを考えよう、とするのがPT のようです。

具体的には？ これこそこれからのPT、そしてHEL 委員会のテーマ。すぐすばらしい成果！？なんて考えない方がいいかもしれないが。

この提案書には今までのHEL の活動への批判も含まれており、委員会ではかなり激論になった。「今まで協力しないでいて文句ばかり言うが、一つLKK の仕事でもやってみたらどうだ」に対して、SAT 側は「それは考慮に値する提案だがここで即答はできない、グループへ持ち帰り検討して返事する」と応じ、それが来年の大会についてのSAT 提案になったわけです。

*HEL 委員会は公開されており、委員でなくても傍聴、発言は自由ですので、どなたでも出席して討議を見守り、意見を出してください。

ウラジオストックの UEA-Delegito, S-ro Sergej Anikejev が、この9月から1年の予定でロシア極東国立総合大学函館校のロシア語講師として函館に滞在します。本人から星田に電話があり、北海道大会に参加したいとのこと。

彼とは82年8月ナホトカで会って以来の付き合い。88年5月、観光船プリアムーリエの小樽入港の際は苦小牧、札幌から7人が訪船して短い時間だが彼と話し合ったことがある (Heroldo de HEL N-ro 24, majo-junio 1988 参照)。

彼は学生時代からエスペラントを学び、もう二十年近くウラジオストックの学生、市民の学習を指導してきた。函館に来てまだひと月だがはもう (Resume en Esp.)

S-ro Sergej Anikejev, Delegito de UEA por Vladivostoko, restadas en havenurbo Hakodate, Hokkajdo dum unu jaro ekde ĉi-jara septembro. Li instruas la rusanlingvon al la studentoj en Hakodate-Tereno de la Ekstrem-Orienta Universitato de Rusa Respubliko. Li partoprenis en la 60a Hokkajda Kongreso de Esperanto okazinta septembre en Iŭamizaŭa kaj prelegis pri Esperanta movado en iama Sovetunio kaj Rusio, la praktikado de Esp. en sia hejmo, k.a. Li nun planas instrui ankaŭ Esp-on al siaj studentoj.

生徒にエスペラントの話もしているとか。学生向け、市民向けー、何かやれるとおもしろい。滞在予定の1年間、合宿、講習などに協力してもらえるものと期待している。なお大会後すぐ、彼から次のはがきが来た。

*S-ro Sergej Anikejevより(3, okt. 96)

--Post la kongreso en Iwamizawa mi revenis al Hakodate en bona stato kun impresoj pri la kongreso.

Mi kore dankas al vi la inviton al la kongreso. Mia partopreno efektiviĝis dank' al vi kaj dank' al la afableco de la Estraro de HEL. Mi multe dankas ankaŭ al S-ro Watanabe.

エスペラント語
きょう講演と講習会
【岩見沢】北海道エスベ
ラント連盟は、人工言語・
エスペラント語の一般向け
の講演会と入門講習会を二
十八日、サンライフ岩見沢
(有明町南一ノ七)で開く。
二十八、二十九の両日、岩
見沢で開かれる第六十回北
海道エスペラント大会を記
念した行事。
講演会は午後一時から。
「私たちの国際交流」をテ
ーマに、日本在住で劇団を
主催するニューシーランド
出身のロウィーナ・マック
ギルさんと函館の極東大学
講師で、ロシア出身のセル
ゲイ・アネイェフさんが、
エスペラント語で講演す
る。日本語に翻訳する。午
後三時から講習会が開か

れ、同大会実行委員の渡辺
晋道さん(岩見沢市在住)が
簡単な文法などを教え
る。
また、関連行事として
マックギルさんが主催する
「劇団夕やけ」による影絵
人形劇「大きなかぶ」が、
同日午前十時からルンビニ
保養園(二東六)で上演
される。人形劇は日本語で
行われる。いずれも入場無
料。

北海道新聞

空南 地方 (26)

1996年(平成8年)9月28日(土曜日)

第60回北海道大会印象記

Sergej Anikejev, Rusio(Hakodate)

Apenaŭ mi sukcesis akomodigi al la vivo en Hakodate, jen do mi ricevis afablan inviton persone partopreni en ties disvolvo plie en Iwamizawa en Hokkajdo. Ĉar mi ne plene alkutimiĝis al japana vivmaniero kaj krome miaj financaj rimedoj ankaŭ estis en malbona stato, min oni surprizis per senpaga loĝigo kaj manĝo en Iwamizawa, kaj tio estis provoka kaj mi decidis partopreni en ĝi.

Neniam mi estus kredinta ke por atingi la kongresejon mi bezonus 3 horojn kaj iom pli de Hakodate ĝis Iwamizawa trajne. Estante ruso, mi ja kredis, ke Japanio estas malgranda peco de nia Terglobo kompare kun Rusio. Ke en Japanio oni ne bezonus veturi dum multaj horoj por atingi deziratan lokon. Ja, en Japanio trafikas la famekonata ŝinkansen-supertrajno! Sed mi do vere bezonis. Tamen, aliflanke, mi ĝuis la pejzaĝojn kaj diversajn vidaĵojn tra fenestro de la trajno ĝis vesperigo.

Atinginte la stacion de Sapporo, mi ŝanĝis la trajnon kaj veninte al Iwamizawa mi estis gastame renkontita de S-ro Watanabe(eduka fako de HEL). La tranoktejo surprizis per la tuj-apude troviĝanta Budhisma templo, al kiu min gvidis sekvatage la sama sinjoro.

En la hejmo de S-ro Watanabe min frapis plia surprizo - du eŭropevenaj sinjorinoj jam gastis tie. Kaj mia surprizo fariĝis

miro, kiam unu el la du prezentis, sin per la nomo de McGill. Estis s-rino Rowena, fratino de Stefan McGill, kies nomo estas tre bonekonata(ŝajne pli multe) al eŭropaj esperantistoj, precipe por la aktivuloj de la E-movado. Kompreneble, Rowena kaj mi persistis pri E-parolo kaj fakte mi ĝuegis la ĉeeston de tia flue-parolanta sinjorino. La dua, kies nomon mi perceptis kiel Francese(pardonu, se mi miskribis), devenis de Anglio. Bedaŭrinde ŝi estis je la nivelo de "Bonan Tagon"-esperantistoj kaj tial mi provis ĉe neceso komunikiĝi kun Francese en la kripla angla, pro mia malperfekta scio de la angla.

Pardonon pro la longa enkonduko. Do, fine pri la kongreso. Laŭ la kvanto de la partoprenantoj mi komprenis, ke estas normala regiona okazajo. Kvankam komence, verdire, mi esperis, ke la 60-an okazajon la Hokkajdaj esperantistoj partoprenus pli grandkvante. Sed.. la kongreso tre vigle evoluis, spite la fakton, ke ne tre abundis la perfektuloj pri la parolo. Tamen, la lerta gvido fare de s-ro Hosida entuziasmiĝis ŝajne ne nur min.

La donitaj dokumentoj, kiuj estis diskutotaj dum la kongreso, plejparte tekstis japanlingve. Sed tio ne estis por mi subita kaj miriga, ĉar kutime ankaŭ en Rusio la diskutoj koncernantaj seriozajn aferojn(ekz. financoj, agadoj, planoj ktp) estas okaziga-

taj en hejma lingvo. Ja tre ofte fervoraj E-aktivuloj ne vicis inter la "perfektuloj" de la parola Esperanto. Kaj laŭ mi estas tre saĝe, ke oni ne multe ŝarĝas la cerbojn de liaj gesinjoroj per pura E-lingva parolo. Ni pensas, ke anticipe oni ŝajne ne antaŭvidis vastan partoprenon fare de ne-japanlingvaj esperantistoj kaj tute racie preparis la pri-diskutotajn dokumentojn.

Estas ja ĉama kutimo ĉe similaj okazajoj en Esuperantujo, ke oni plene ekuzu siajn kapablojn paroli Esperante post la oficialaj partoj de kongresoj. Kaj vere tio tre efikis, kiam ĉiuj kongresanoj komune bankedis aŭ havis iom da libera tempo por babili ekster

(RESUMO JAPANLINGVA)

大会で興味深い話を聞かせていただいた S-ro Sergej Anikejev からいただいた印象記です。一つの異文化体験記として面白いですね。ちょっと書いてありますが、S-ro StefanはUEAにも長かったし、有名なんですね。節目の年の大会参加者、—esperis, ke —us は我々も同感、かつ反省すべきところでしょう。ne tre abundis la perfektuloj—との好意の理解はほんとにありがたいことだけど、あまり甘えても居れませんね。(星田)

la kongresejo. Plie, min impresis(cetere, kiel ĉiam tio impresas eŭropanojn), ke la tagordo estis strikte obeata kaj regule gvidata kaj pro tio mankis tempo por oscedi aŭ dormeti dum la diskutoj. Certe, tio estas kutima afero ĉe japanoj, ne nur inter esperantistoj. Kaj tio estas imitinda, laŭ mi. Kaj, dank'al la partopreno de SAT-ana grupo la diskutoj iris ne ĉiam samideanece kaj ne tute laŭplane, sed tamen do glate solviĝis.

Mi deziras refoje danki al ĉiuj koncernatoj, kiuj invitis kaj gvidis min dum la kongreso. Vere al mi plaĉis la etoso dum la kongreso. Pliajn kaj pluajn sukcesojn al la Hokkajda esperantistaro!



私は時々思うことがある。“どうしてこんなにもUKに出かけてゆきたいのか。”旅行のツアーで、非常に効率のよい企画が巷には溢れていると云うのに……。

今年はチェコ共和国の主都プラハで81回目のUKが催され、66ヶ国、約3000人の参加者。この地では会費を支払うのが大変で、参加出来ない地元の人々が、会場の前の広場に集まって来て、友達と逢っている光景がみられた。パロセロナやウィーンの大会とは違っているなど思う。Stelistoj がプラハに終結とかで、この他会場入場のチェックが厳しかったようである。

Antaŭ ĉio, partoprenantoj が集まってみれば、そこはまぎれもなく esperantujo ! 何語を母国語としていようが何の avantaĝo も malavantaĝo もない、黒も白も黄もない。気分負担のない世界である。これぞ Esperanto の神髄か？

Rendevua tabulo と云うのが会場の一角にある。沢山の informpapero がピンで止められてある。— 大会番号で分類 —。自分に informo がないかと探す人の山。私も例にもれず古い友人ご夫婦との再会のため伝言を止めた。すぐに返事があり8年目の再会を楽しんだ。eta esperantujo が食事をはさんで続き、手紙ではなし得ない相互理解が生まれ、これからの korespondado に深みが増すだろう。Granda plezuro gi estis !

Alie speciala : ハンブルグからベルリン、プラハ、ブダペスト終着と云う特急国際列車で3時間。urbo Brno まで古い友人を訪ねた。pensiulino の彼女にとって大会出席は multe kosto だから参加出来ない。自分の所に遊びにおいて…と云う強い invito があり実現。天からの贈物だった。彼女の年金は4000クローネ、うち1000クローネは公共料金に消える(私の比率はどうかと聞かれたがすぐには計算出来ない。いいかげん自分を恥じる)。

ガタピシ、デコボコ床、手作りかと思われる住いだが野菜、花を作るスペースが充分にある。庭に隣からのびている枝から prunoj が落ちている。najbara danaco por mi, ĉu ne ? とおやつにした、楽しかった。二人で時々 vortaro を開きながら、夜の更けるのも忘れ、家族こと互いの国の経済文化のこと k. t. p…を nur esperanto で— 勿論だよネ — 話はずみびつくりしている。キュリーとニンニクをすりおろしてピネガーを加えたものが小どんぶり一杯。おいしかった。チェコでは一般的な食べ物らしい。翌日、プットラトホームで肉親と別れるように名残惜しかった。そばにバンダナの兄ちゃんが大きなリュックをおいてベンチにかけていた。“チェコ語が出来るんですか！”すかさず esperantujo の楽しさを宣伝したのは云うまでもない。esperantujo は私の人生になくなくてはならない楽しみの一つに今はなっている。

ところで、今年は新渡戸稲造シンポジウムト云う特別企画があり日本から可成りの金額が出費されたいが、誰でもが出席できないと云う片手おち、不満が残った。

En la julio-aŭgusta numero de "ESPERANTO" (UEA) mi trovis artikolon "Ĉu vi estis en Liaoning?", ke la Liaoning-provinca E-Asocio serĉas kontakton kun e-istoj kiuj post la Pekina UK (1986) vizitis Liaoning. Ja mi tiam estis tie!

Do mi tuj skribis responde al la Asocio, ke mi tiam estis kun aliaj grupanoj, el kiuj ankaŭ S-ro Misaua kaj Ges-roj Kurihara estis el Hokkajdo.

En septembro mi ricevis jenan leteron de S-ro Wu Guojiang, Vic-ĝenerala Sekretario de LEA, deziranta plian kontaktigon inter esp-aj grupoj.

Wu Guojiang

Fushun Shiyoyuichang Yanjiusuo
CN-113008 Fushun Liaoning

P. R. China

1996-09-12

Estimata s-ro HOSIDA Acusi,

La 3-an de aŭgusto mi plezure ricevis vian leteron de 1996-07-27. Koran dankon.

Ĉe la ceremonio de La 6-a Liaoning-Provinca Kongreso de Esperanto mi transdiris vian el-koran saluton al la kongresanoj. La ĉeestintoj tre laŭdis vian revenon en Esperantujo (要約)

UEA 機関誌ESPERANTO の7-8月号に、北京UK(1986)のあとで遼寧省を訪れたエスペ란ティストの連絡を求める記事があった。私もPOSTKONGRESOでShenyang(瀋陽)の行事に参加したので、その時同行した北海道からのメンバーの名も添えて連絡した。その手紙は8月3日の遼寧省エスペラント大会で紹介されたと、上に示した返事(エスペラント文)にかかっている。彼のいる撫順は日本の二都市とも姉妹関係があり、日本側の市民の来訪も多いが、今まで1人のエスペ란ティストの参加もなかったと残念がり、もっと交流を盛んにしたいと述べている。ついでながら：撫順は故永田明子さんの出生地でもあった。

(de malsanulejo--Noto de HOSIDA) kaj dankis vin pro via saluto.

En la pasintaj 11 jaroj, Liaoning-provinca E.-Asocio(LEA) kaj sukcesis kaj malsukcesis. Post la 6-a kongreso, ĝia nova estraro jam havas planojn kaj projektojn en E-laboro.

Nun mi loĝas en Fushun-urbo(撫順), distance de Shenyang(瀋陽), ĉefurbo de Liaoning-provinco, je 40 kilometroj. Ĝi jam havas ĝemelajn rilatojn kun Iwaki(磐城) kaj Yubari(夕張) en via lando. Ĉiujare, multaj diversaj grupoj el la du urboj vizitis Fushun. Sed mi neniam trovis Esperantan grupon aŭ e-iston. Same al vi, ankaŭ mi opinias, ke niaj e-istoj aŭ Esperantaj grupoj devas interŝanĝi unu la alian.

Ni devas akceli diversajn intersanĝojn aŭ fari signifajn aferojn, ekz. ĝemeliĝo de la urboj pere de Esperanto, se eble.

Ni estas okupiganta en redakto de "verda stelo"(esperanta) organo de LEA, kiu nelonge eldonigos. Tiam mi sendos ĝin al vi.

Nome de LEA mi kore dankas vin pro via aktiva respondo al nia anonco.

Kun koraj salutoj

Wu Guojiang(呉国江)

Vic-ĝenerala Sekretario de LEA

第4回役員会報告

Reporto de la 4-a komitata kunveno de HEL

[日時] 7月19日(金) 午後6時～8時

[場所] 札幌駅ライラックパセオ

[出席者] 星田 淳、阿部 映子、宮沢 直人、
サトウ エイジ、馬場恵美子

[議事内容]

*第60回北海道大会について

各種参加申込み・大会提案などの期日の決定(8月末まで) 役員人事について

*ヘロルド(63号)発行について

[その他]

*SATが9月29日の連帯祭に参加予定

[次期役員会] 9月6日(金) 午後6時 同場所

第5回役員会報告

Reporto de la 5-a komitata kunveno de HEL

[日時] 9月6日(金) 午後6時～7時45分

[場所] 札幌駅ライラックパセオ

[出席者] 星田 淳、阿部 映子、渡辺 晋道、
宮沢 直人、サトウ エイジ、
鈴木 圭子、馬場 恵美子

[議事内容]

*第60回北海道大会について

各種後援、大会提案、一般参加者の資料、
大会資料、式次、記念品 (確認事項)

*大会招待者の謝礼について

宿泊費+パンケド+交通費+日当(1万円)

*来年度予算について

役員手当てを実費払いとする

[次期役員会] 道大会終了後会場にて

第6回役員会報告

Reporto de la 6-a komitata kunveno de HEL

[日時] 9月28日(土) 午後8時30分から

[場所] 喫茶店 鹿(岩見沢 道大会パンケド終了後)

[出席者] 星田 淳、阿部 映子、宮沢 直人、渡
辺 晋道、サトウ エイジ、大山口 誠、岩間 洋
子、水戸 善爾、馬場恵美子、

[議事内容]

*第60回北海道連盟総会について

翌日の総会式順・発表者の確認
大会提案などについて

1. 講師認定制度
2. 事務局内にプロジェクトチームの設定
3. インターネットホームページの開設
4. 役員改選
5. 次期開催地について

[次期役員会]

9月29日(日) 大会終了後会場で

(馬場 恵美子)



Cu Holokaŭsto (amasneniigo) ne okazis? Eraroj!

インターネット通信より: ユダヤ人虐殺はなかった? うそです!

HOŠIDA Acuŝi

変なきっかけから始まった(電子)文通の1例。ひょっこり飛び込んできたメールには、私は出ていないプラハUK (の KONGRESLIBRO ?) でアドレスを見たという。まさか? イスラエルのガラス工場の人から。おりからPC-VAN (パソコン通信網) では、以前上記見出しの問題で廃刊になったマルコポーロの筆者がああ主張をまた繰り返しているので質問してみた。ヨーロッパ人によくあることだが、エスペラント以外の言葉もまじっているのは直して置きました。(★は受信、☆は発信)

★#00012926 96/08/24 00:06:37
Date: Sat Aug 24 18:09:30 1996

Saluton!

Mi trovis vian adreson en la 81-kongreso en Prago. Mi estos tre ĝoja rekoni vin.

Mi volas korespondi kun vi. Dankon Y
☆#00013410 96/08/25 05:55:28

発信者: MCM63639 星田 淳

Saluton, mi ricevis vian poŝton sed bonvolu rimarkigi min, kie ni havis iam kontakton inter ni. Mi ne partoprenis en la 81-a UK

en Prago, do mi ne komprenas kie kaj kiel vi trovis mian adreson. Bonvolu rakonti al mi.

Ĉu vi ricevas mian poŝton bone kun la supersignojn? En via poŝtoteksto mankas ili.

Ĉu vi ne povos sendi ilin per "" aŭ "h" ?

Lastatempe aŭdiĝas voĉoj, ke Nazia Germanio ne planis ekstermi judojn, nek uzis gaskamerojn por tio.

Ĉu vi iam aŭdis pri tiaj voĉoj? Ĝis nun mi kredis, ke la naziaj krimoj ekstermi judojn estas tute klara

fakto kun multaj atestajoj. Ĉu mi eraras?

15時間後にきた返事には、supersigno もちゃんと付いていました。祖父母もナチスの犠牲になったとのこと。意味の分かりにくいところ(ありますね)は質問中。文通はまだ続きそうです。

★#00014366 96/08/25 20:48:16
Date: Mon Aug 26 14:51:06 1996

Kara amiko Mi trovis vian adreson en la Jarlibro 1996 de la Universala Esperanto-Asocio, kiun mi vidis en la 81-a kongreso en Prago.

La voĉoj, ke Nazia Germanio ne planis ekstermi judojn, nek uzis gaskamerojn por tio, estas eraroj. La vero estas, ke la naziaj krimoj ekstermi judojn estas tute klara fakto kun multaj atestajoj, kiel vi kredas. Ĝi okazis antaŭ 50 Jaroj kaj ni ne forgesas sed ni povas pardoni kaj esperas ke

tia situacio neniam ripetigos. Mi ankaŭ

aŭdis la voĉojn kiel vi. Ĉitie la voĉoj de homoj estas, ke kontinuas la vojo de Hitler

kaj estas multa kiel ili. Mia avĉjo kaj mia avinjo estas murditaj en la kataklismo. Mi

ne koleras kontraŭ germanoj. Domaĝe la situacio kiel tia okazis. Mi parolas la

Hebrean, Anglan, Hispanan, kaj Portugalan lingvojn kaj iomete da ĉina kaj Japana. Mi

estas nova en Esperanto. Kaj vi? Kiajn lingvojn vi parolas? Mi laboras en entre-

preno malgranda de vitro pufita. Kaj vi? Ĝis via respondo y

Danke ricevitaj -- 受領郵便物 (星田淳 扱い) -- 読みたい方はご連絡下さい)

*NOVA VOJO:1996.7/8(N-ro 310 jul-aŭg),
A5X32 頁の内エスペラント文 (対訳) 14頁。
「生まれながらのエスペランティスト」(2), 家庭で
ESP を育て根づかせていくていねいなマニュアル
になっている。

*第37回東北エスペラント大会 (案内)
10月5~6日、福島市飯坂温泉にて。
*Hokkaidô Rômazî Kenkyû No.88 (復刊62)
北海道ローマ字研究会発行, Hes. 8n. 7gt. 22nt.
5月25日札幌での池上講師の講演「ウイルト語
の文字表記」のあらまし。7母音、18子音のウ
イルト語表記のためロシア文字、ローマ字の2案
を池上氏はロシア政府に提出している。この言葉
をエスペラント式発音表記にしたものに
"Esperanto-Japana Ŭilta Vortaro" (verkita de
IKEMOTO Morio, eldonita de Kitami Esperanto-
Asocio, 1980) がある。

*Poŝtkarto el S-ro 横田道郎 (北海道ローマ字
研究会) : 占領時代GHQ の指示でのヘボン式許容
による教育現場の混乱について。

*Mejlstono n-ro 136 JULIO. 1996, 仙台E会
B5X8頁のうちエスペラント文2頁。初めての一日
講習会を5月に開いたら、その出席者の半分近く
が入門講習会にも参加したとのこと。

*写真集「沖縄戦」実物見本到着。

HEL宛に「多くの方にご覧いただき、ご購入
の検討をしていただきますよう」との「お願い」
付き。全3巻、分割購入も可、不要ならば返送可、
とのこと。

本書は、終戦50周年に向けて、「戦争の実相
と平和の尊さ」を全国民に伝えるために刊行され
ました。特に戦争の原体験者が少なくなっていく
現実の中で、戦争を知らない世代と平和を愛する

子供たちへの贈り物にしたいというのが願望です。

また、平和教育のための展示会等にもご活用い
ただければと存じます。 (案内チラシより)

1. 写真集「沖縄-失われた文化財と風俗」B
4版256頁、白黒写真389点。歴史的な写真
が多い。中国が領土要求している尖閣諸島の部落
や人々 (大正年間) の写真もある。確かに日本人
が住んでいたことがわかる。

2. 写真集「沖縄戦」B4版472頁、カラー
写真450、モノクロ450点。
監修 大田昌秀 (現知事)、沖縄県学校図書館協
議会推薦。

3. 写真集「沖縄戦後史」B4版448頁、写
真数の記載はないがほかの2冊と同じくらいはあ
りそう。監修者の大田昌秀がかなり長い歴史的分
析を書いている。

(星田所見) 内容は地方文化史としても、日本国
土内での戦争-戦後史としても実に貴重なもので
す。布クロス、箱入りの上製本で 当然金額も大
きく1冊19800円、全巻で59400円。那
覇出版社 (熊本市) 発行。

関心ある方にはお見せします。

*Novajoj Tamtamas:n-rol16, julio 1996

A5 X 8頁、全文エスペラント (JER)。

Leteroj de legantoj の中にひょいと自分の文通
相手の文が見つかるのが楽しい。なおRedaktanto
parolas:Julia numero finfine eldoniĝis en
septembro-- とのこと。

*LA TAMTAMO:n-ro 271, julio 1996 (JER)

A5 X 8頁、日本文

*LA TAMTAMO:n-ro 272, aŭgusto 1996 (JER)

A5 X 8頁のうちエスペラント文1頁。

姉妹都市からエスペランティストを迎える準備の

記事が第1面。ここは毎年交流があるようだ。

*Novajoj Tamtamas:n-ro117, aŭgusto 1996

A5 X 8頁、全文エスペラント (JER)、外国の読者からインターネットによる通信を呼びかける記事もある。

*NOVA VOJO:1996.9(N-ro 311 septembro), A5X32 頁の内エスペラント文約4頁。この号は世界大会、関西大会、SAT大会などの記事が多く、のページを占めた。

*ローマ字関係資料・書簡：北海道ローマ字研究会 横田道郎 理事長 より

「――エスペラント (HEL) の前の事務局長の切替英雄さんは本会の理事です。――」

*Hokkaidō Rōmazi Kenkyū No. 89 (復刊63)

北海道ローマ字研究会発行、Hes. 8n. 9gt. 24nt. B5X8頁のうちローマ字文2頁。巻頭文に「小学校から英語教育」に対する疑問。

*SFERILO: SFERO (= SAN FRANCISCO ESPERANTO REGIONAL ORGANIZATION, カリフォルニア州北部の組織) の INFORMILOの意味か。A4X4頁、大部分は英語。発行日付はないが9月の例会の予告などが

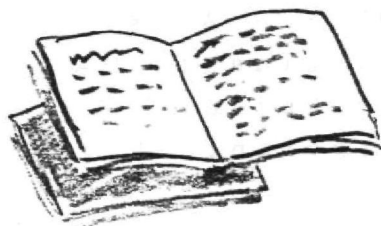
出ている。(Esperanto Information Center からの発送)

*Mejlŝtono n-ro 137 SEPTEMBRO 1996, 仙台E会 B5X6頁のうちエスペラント文3頁半。三瓶圭子さんの VOJAĜO AL SARAJEVO の第1回、まずブダペストの世界人形劇フェスティバル。菊島和子さんのエスペラントを通しての解説。列車内で意外にも菊島さんの昔の文通相手に出会う。続きがたのしみだ。

*NOVA VOJO:1996.10(N-ro 312 oktobro), A5X32 頁の内エスペラント文約4頁。この号も大会記事が多い。アジア大会、KS15, 食中毒にたたられた日本大会、ニトベシンポジウム (プラハ) 報告など。

*S-ro 天方良彦(鯉ヶ野)年末旭川へ移住

9月26日付来信より：“――RO5月号の特集、8月号の OPINI-BAZARO に私の投書が載っています。今までロンド等で活動はしていませんが私なりにEへの貢献はしているつもりです。――” Bonvenon!!!!!! Heroldo de HELなど資料を少し送りました。



佐藤勝一様

Al la 37-a TOHOKU-KONGRESO
DE ESPERANTO

de Hokkajda
Esperanto-Ligo

Karaj gesamideanoj en Tohoku.

Okaze de via 37-a Tohoku-Kongreso de Esperanto, ni, membroj de Hokkajda Esperanto-Ligo sendas al vi varmajn kaj plej samideanajn salutojn, dezirante plenan sukceson de la kongreso.

Ni vidas, ke la programeroj de via kongreso bone spegulas viajn viglajn agadojn en kaj ekster Japanio. La fruktoj de viaj klopodoj tiel montriĝas bonaj temoj por publika prelego kaj interna studado. Tiel vi montras belan ekzemplon kia estu nia movado.

Ni esperas, ke vi havu ĝojan kongreson en la bela banloko dotita je bon-gustaj fruktoj.

Samideane Via



HOSIDA Acusi
Prezidanto de
Hokkajda
Esperanto-Ligo

S-ino Pauline LEDEEN (Usono) vizitis Muroran' on

HOŠIDA Acusi

10月11日朝、usona esp-istino来訪の知らせがあり室蘭の須藤、苫小牧の星田の2人、中島町のホテルサンルートで迎える。S-ino は小柄なmaljunulino, カリフォルニア州パサデナのひとで、Vilc'jo Harmon など ELNA 役員たちをよく知っている模様。31年前の東京UKに edzo とともに参加し、小樽の高橋達治さん、山賀さんを覚えているという。その edzo が15年前に亡くなったからはESP を話す機会がなくなったのか、会話は少したどたどしく、時に英語も混じるが1時間あまり話ができた。86才と聞いて驚くくらいの元気。法律関係の資格もあるとのことで、今も刑務所の囚人たちのカウンセラーの仕事をしていると聞いて、も一つ驚いた。このあとウラジオストック、韓国を経て広島に行き、5年間ホームステイさせた娘（日本女性）が「アメリカのおばあちゃん」を待っているそうだから寄っていくーとのこと。やはりエスペ란ティストはいつまでも精神的に若いんだ！

すぐこのことをオークランド（カリフォルニア）の S-ro Harmonにインターネットで知らせた。24時間後に返事があった。☆は送信、★は受信で次の通り。

☆ 7 96/10/13 96/10/13 12:51

1 S-ino LEDEEN vizitis nin>Sro W.R.Harmon
Kiel vi fartas, Sinjoro! Hierau S-ino Pauline LEDEEN el Pasadena venis al haveno

Muroran, Hokkajdo, per ŝipego Sky Princess. De ŝi mi audis ankaŭ vian nomon. Kvankam maljuna, al mi ŝajnis, ke ŝi estas vigla. Mi miris, kiam mi audis, ke ŝi ankoraŭ laboras por malliberuloj.

En nia loka kongreso (La 60a Hokkajda Kongreso de Esperanto, 28 ~29/sept) partoprenis ankaŭ novzelandanino kaj rusoj.

Sincere via HOŠIDA Acusi

★#00042795 96/10/14 12:23:19

発信者: INET#WRHarmon@aol.com

受信者: MCM63639 星田 淳

文書名: Re: S-ino LEDEEN en Hokajdo

Dankon pro via mesaĝo. Mi bone konas Pauline - spite al ŝia aĝo ŝi estas ofta partoprenanto en la ekskursoj de EsperantoVojag'Servo, laste de Finnlando ĝis Moskvo laŭ la riveroj kaj kanaloj de Rusio. Mi ĝojas, ke ŝi povis viziti vian landon, kaj ke vi povis konatiĝi kun ŝi.

Mi ofte sopiras reveni al mia "dua lando", Japanio -sed la sorto tion ne permesas. Eble mi povos mallonge viziti Tokion en novembro lige kun diskutoj pri la 15-leciona kursaro por televido kiun entreprenas mia edzino Lusi por ELNA. Elkore salutas Wm.R. Harmon

第1回役員会報告

Raporto de la 1-a komitato kunveno de HEL

[日時] 9月29日(日) 午後1時~1時半

[場所] 岩見沢市「食事処酔月亭」

[出席者] 星田 淳、渡辺 晋道、阿部 映子
大山口 誠、後藤 義治、

[議事内容]

*新役員の役割分担について

総会決定の確認、3頁に記載のとおり

*ヘロルド(64号)発行について

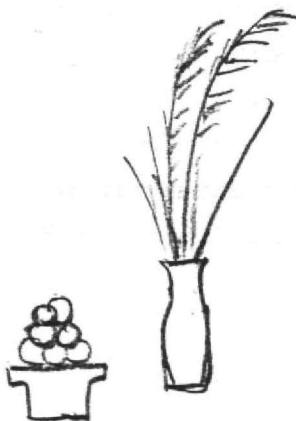
10月中旬又は下旬を予定(現行締切りは10月12日)

封筒がなくなったので印刷発注(連盟の住所は星田会長宅のまま)

[次期役員会] 10月9日(水)午後6時

札幌駅地下パセオ内「ライオン」

(諸般の事情で18日に延期)



第2回役員会報告

Raporto de la 2-a komitato kunveno de HEL

[日時] 10月18日(金) 午後6時~7時半

[場所] 札幌駅地下パセオ内「ライオン」

[出席者] 星田 淳、サトウエイジ、渡辺 晋道、
宮沢 直人、阿部 映子、後藤 義治、
大山口 誠、大鋸敏雄

[議事内容]

*HEL年間活動計画表(Programo)作成

H.de HELは当初の目標(年6回発行)で考え、発行日、原稿締切日を決めて、締切り以後の適当な日に委員会を開き、版下(原稿)に目をとおり校正、(できれば、ページ割まで決める)。

新年講習会と新年会は'97.1.18(土)又は19(日)を考えている。道大会に出席された s-ro Sergej Anikejev を講師に招く案もでた。

北海道合宿は、札幌近郊だけではなく函館も候補地としてあがった。

道大会は9月ではなく11月となるかもしれない。

*講師認定制度について

教育部が中心に案を練る。

*会費切れ会員への支払要請と未加入エスペランティストへの働きかけ

今後も働きかけを続けて行く。なお、9月27日現在HEL-anojは73名。

*PT(Projekta Teamo)について

HEL-anoj及び未加入エスペランティストへ参加協力を呼びかける。

*開拓記念館解説

数年前SATから提案されたまになっている。

現状では本年度実施は困難なので、い

ずれ改めて提案したいとSATからの話
なので、再度提案が出された時点で検討
したい。

[H.de HEL N-ro 65]

*原稿締切 12月13日

*発行予定 12月下旬

[次期役員会] 12月20日(金)午後6時

札幌駅西側ライラックパセオ

*議事内容

新年講習会と新年(宴)会
合宿の構想、学習、運動、
その他について

役員以外の方の参加歓迎。

libera babilado kaj diskutado の場
にしたい。

以下については、次回以降の役員会で日
程、内容等を決めていく。

[H.de HEL N-ro 66]

*原稿締切 2月中旬

*発行予定 2月下旬

締切と発行の間に役員会開催

*議事内容

合宿計画、その他
合宿準備委員会(Kunlogada-Komitato)

発足

RO、LMなどへ記事を送る(3月号
に載せる)

なお、3~4月は必要に応じて K.K. 開催

[H.de HEL N-ro 67]

*原稿締切 4月中旬

*発行予定 4月下旬

締切と発行の間に役員会開催

*議事内容

合宿の細目、その他

☆5月の中、下旬に合宿開催☆

[H.de HEL N-ro 68]

*原稿締切 6月中旬

*発行予定 6月下旬

締切と発行の間に役員会開催

*議事内容

道大会、その他

(道大会が11月になるなら、次回に)

以下、2か月ごとに編集会議を兼ねた役
員会を開催の予定。

あの人この人 (会員消息)

—Kiel fartas kaj vivas samideanoj—

*山本昭二郎さん(小樽)より(PK'96.9.18)

—人工内耳のこと—東京虎ノ門病院に行って
検査を受け—札幌医大で挿入術を受けたのです。
この9月で満2年、テレビやラジオのバックミュ
ージックなどよく聞こえますが、人の声(言葉)
がなかなか判断できない。私の場合60年ぶり
なので馴れるのに時間がかかります。—

*S-ro Eguc'i (江口音吉) en Otaru

7月26日以来、脳梗塞で入院中とのこと。早
いご回復を祈ります。



Informo de Sapporo Esperanto Societo

札幌エスペラント会
からのお知らせ

1. 秋季1日講習会

日時：11月16日(土) PM1時~4時まで
場所：かでの2・7(中央区北2条西7丁目)

6階女性プラザ 学習室B

講師：星田 淳 費用：500円

- 内容：1. 口を開いて話してみよう
2. 相関詞(疑問文)について
3. こんな時にはどう表現したら良いか

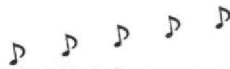
締切：11月13日(水)まで

申込：馬場恵美子 ☎(011) 761-8060 夜9時以降

その他：事前に資料の配布があります

「3.Eの表現方法について」は質問を受け付けますので申しで出を

講習会終了後有志で食事を予定しています



2. ザメンホフ祭

日時：12月14日(土) PM1:00~4:00

場所：かでの2・7

照会先：馬場恵美子

3. 入門講習会

日時：10月19日(土) 2時間全8回

場所：かでの2・7(土曜例会と同室)

講師：宮岸 忠孝

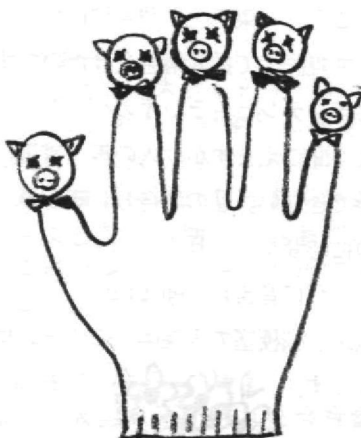
費用：3,500円(教材費込み)

使用テキスト：La Teksto Unua

*5名が受講中(全員女性)。受講者の顔ぶれ

は札E会会員の親類(2名)、関西で受講再学習、

看護婦、翌年のUKを目指した再学習者など。



「劇団タヤけ」の軍手指人形

Heroldo de HEL

第64号(1996.11.5)

北海道エスペラント連盟機関紙

編集部

〒001 札幌市北区北12西1パークMS602

阿部映子気付 ☎011-756-2291

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟